

# 平成29年度実施 神奈川県公立学校教員(神奈川県立特別支援学校における自立活動担当)採用候補者選考試験実施要項

神奈川県教育委員会

第1次試験 7月9日(日)  
受付期間 4月25日(火)～5月15日(月) (郵送のみ)  
※ 5月15日(月)の消印まで有効(持参不可)

提出先 〒231-8509 横浜市中区日本大通33  
神奈川県教育委員会教育局行政部 教職員人事課 教職員採用グループ  
連絡先 電話 045-210-8190(直通)  
ホームページアドレス <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7272/>

## 1 趣旨

この選考試験は、平成30年度採用予定の神奈川県公立学校教員(神奈川県立特別支援学校における自立活動担当)採用候補者を決定するために実施するものです。

## 2 募集対象・募集人員

- (1) 校種等 特別支援学校における自立活動担当
- (2) 募集職種・人員 言語聴覚士、臨床心理士 各若干名

## 3 担当する主な業務内容

- (1) 自立活動の指導への指導助言等
- (2) 個別教育計画の作成・評価への参加等
- (3) 地域の小中学校への巡回相談等による教育相談への対応

## 4 受験資格

次の(1)～(3)を全て満たし、かつ(4)又は(5)のいずれかに該当する人

- (1) 昭和33年4月2日以降に出生した人
- (2) 地方公務員法第16条及び学校教育法第9条に規定する欠格事項に該当しない人(P5を参照)
- (3) 言語聴覚士の場合は言語聴覚士の資格、臨床心理士の場合は臨床心理士の資格を有し、その資格に基づく職務経験が出願時に3年以上(※)ある人  
※ 勤務形態による職務経験年数の換算については、P5を参照
- (4) 特別支援学校自立活動教諭免許状を所有している人又は平成30年3月31日までに取得見込みの人
- (5) 教育職員免許法第5条第3項に規定する特別免許状の申請が可能な人(P3、4を参照)

## 5 選考試験日、会場及び内容等

### (1) 第1次試験

ア 試験日 平成29年7月9日(日)

イ 集合時刻(時間厳守) 受験票に記載してお知らせします。

※ 集合時刻までに試験会場の建物に入場していない場合は受験ができません。

ウ 会場 6月下旬に発行される受験票で会場を指定しますが、災害等やむを得ない都合により会場を変更する場合があります。その際、ホームページでお知らせします。

### エ 試験の種類等

(7) 一般教養試験(30分) (マークシートによる解答)  
人文・社会・自然科学等に関する一般教養試験

(4) 論文試験(60分)

特別支援教育(自立活動担当)に関するテーマによる論文(800字程度)

※ 論文試験は第2次試験ですが、第1次試験受験者全員に実施し、第1次試験合格者のみ採点します。

※ 論文の評価の観点は、6月上旬にホームページで公開する予定です。

## (2) 第2次試験

ア 試験日 8月7日(月)～18日(金)

※ 該当する期間内の1日(土曜日及び日曜日を除く)を予定しています。

イ 集合時刻(時間厳守) 第1次試験合格者に通知します。

※ 集合時刻までに試験会場の建物に入場していない場合は受験ができません。

ウ 会場 第1次試験合格者に通知します。

## エ 内容

(7) 論文試験(第1次試験日に実施)

(イ) 協議

協議は、司会を決めずに、受験者同士で指定されたテーマに沿って行います。

(ウ) 個人面接

※ 協議のテーマは6月下旬に、協議及び個人面接の評価の観点は7月下旬に、それぞれホームページで公開する予定です。

## 6 選考結果の発表

(1) 日時(予定)

第1次試験 平成29年7月28日(金) 午前10時

第2次試験 平成29年10月2日(月) 午前10時

(2) 場所

神奈川県庁新庁舎2階 県政情報センター

※ 選考の結果は、第1次試験、第2次試験とも、各日程の試験を全て受験した受験者全員に、合否にかかわらず郵送で通知します。

なお、いかなる理由があっても、選考試験を欠席、途中退出した場合は合否判定の対象とせず、選考結果の通知はしません。

※ 第1次試験、第2次試験とも、結果についての電話による問合せには応じません。

※ 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験のホームページでも発表日の午前10時から1週間、合格者の受験番号を掲示します。なお、システムの都合上、掲示開始時刻に誤差が生じる場合があります。

※ 合格発表において、自己の情報(校種等・教科、受験番号)を掲載してほしくない人は、7月14日(金)までに、その旨を記した自筆の文書をP1の提出先に郵送してください。

## 7 試験結果の開示

神奈川県個人情報保護条例第25条の規定に基づき、神奈川県庁新庁舎2階県政情報センターにて、本人確認の上、口頭の請求により試験結果の開示を行います。(受付時間：午前8時30分から午後5時15分まで(土曜日、日曜日及び祝日を除く)。ただし、発表日当日は、午前10時から。)※

試験	開示請求ができる人	開示内容	開示期間
第1次試験	第1次試験受験者(本人に限る)	試験の種類ごとの得点	合格発表日から1か月間
第2次試験	第2次試験受験者(本人に限る)	試験の種類ごとの得点	合格発表日から1か月間

同条例第19条に基づいて、自己情報の開示請求(請求書による請求)もできます。次のホームページにある自己情報開示制度をご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6103/p972387.html>

※ 電話による問合せには応じません。

※ 開示を希望する人は、受験票と運転免許証等(原則、写真付きの身分証明書)を必ず持参してください。

## 8 特別免許状の授与

「4 受験資格」(5)に該当する第2次試験合格者は、教育職員検定に合格することにより特別免許状が授与されます。

※ 特別免許状は、教育職員検定に合格した人に授与されるもので、教育職員検定とは、受検者の人物、学力、実務及び身体の各項目について書類審査を行い、可否を判定するものです。(教育職員免許法第6条第1項)

## 9 健康審査

採用に当たっては、教職員健康審査会で健康審査を行い、「適」の判定を受けることが必要です。健康上の理由により、その職に耐えられないと認められたときは、採用されません。

## 10 採用

(1) 採用候補者名簿に登載された人は、平成30年4月1日付けで採用され、神奈川県立の特別支援学校に配属となる予定です。

(2) 受験資格の要件が満たされない場合や教員としての適格性を欠く事実が明らかになった場合は、採用候補者名簿から削除され採用されません。

(3) 既に他の校種等・教科の教員普通免許状を所有している場合は、免許更新制等により平成30年3月31日までにその所有する教員免許状の更新等ができないと採用されませんので、ご注意ください。

(4) 日本国籍を有しない人は、任用期限を付さない常勤講師としての採用となります。

## 11 申込手続(郵送のみ)

### (1) 受付期間

平成29年4月25日(火)から平成29年5月15日(月)まで(平成29年5月15日の消印まで有効)

### (2) 提出書類等

ア 「受験申込書」(記入要領は、受験申込書裏面を参照)

イ 必要事項を記入した上記ア「受験申込書」の写し 1部

※ A4用紙で等倍率の複写をしてください。

ウ 「受験者カード」(記入例は、P6を参照)

エ 「実務に関する経歴書」(記入例は、P7を参照)

※ 合格後(10月下旬以降)に、所定の様式で職歴証明書を提出していただきます。受験申込時に申告した内容に満たない証明書が提出され、資格要件を満たさないと判断された場合は、採用されません。あらかじめ、証明を受ける施設等から資格要件を満たす内容の証明書が発行されることを確認しておいてください。

勤務していた施設等が統廃合等により無くなっている場合は、その組織を引き継いでいる施設等から証明を受けられることを確認しておいてください。証明書を発行できる施設等がない場合は、採用されません。資格要件は、証明書をもって確認しますので、年金の加入記録等は受け付けません。

オ 「返信用封筒」(受験票送付用)

・ 【長形3号】規格(120mm×235mm)

・ 82円分の郵便切手貼付

・ 受験票の送付先(郵便番号、住所及び氏名)を明記

※ 必ず、提出書類一式の写しをとり、本人控え用として保管しておいてください。

### (3) 申込方法及び提出先

提出書類等を【角形2号】規格(240mm×332mm)の封筒に入れ、P1の提出先まで郵送してください(持参不可)。

封筒の表に「受験申込書在中」、「自立活動担当」と赤字で大きく、はっきりと記入してください。「(簡易)書留」によらない郵便の事故等については、一切考慮しません。

※ 受験申込みに必要な書類等に不備や不足がある場合は、受付できません。申込記入事項が正しくないことが明らかになった場合は、合格を取り消すことがありますので、正確に記入してください。なお、この試験において提出された書類等は一切返却しません。

### (4) 受験票及び受験者確認票の発送

受験票及び受験者確認票は、6月下旬に(2)オ「返信用封筒」(受験票送付用)により郵送します。6月29日(木)までに受験票及び受験者確認票が届かない場合は、P1の連絡先までご連絡ください。

なお、受験票と受験者確認票は、切り取り線で切り離し、両方に同じ写真を貼り、必要事項を記入して第1次試験当日に持参してください。受験者確認票は、第1次試験当日に回収します。

受験票及び受験者確認票に貼る写真は、平成29年4月1日以降に撮影した、縦4cm、横3cm、上半身、脱帽、正面向きのもので、裏面に氏名と「自立活動担当」と書いてから貼ってください。また、第2次試験で同一の写真がさらに2枚(計4枚)必要になりますので用意しておいてください(各自保管)。

## 12 身体に障害のある人の受験について

身体に障害のある人で、受験に際して特に配慮を希望する場合は、申込みと同時にP1の連絡先までお問い合わせの上、申し込んでください。

## 13 参考

### ○教育職員免許法第5条に規定する特別免許状の授与関係

第五条 普通免許状は、別表第一、別表第二若しくは別表第二の二に定める基礎資格を有し、かつ、大学若しくは文部科学大臣の指定する養護教諭養成機関において別表第一、別表第二若しくは別表第二の二に定める単位を修得した者又はその免許状を授与するため行う教育職員検定に合格した者に授与する。ただし、次の各号のいずれかに該当する者には、授与しない。

- 一 十八歳未満の者
- 二 高等学校を卒業しない者(通常の課程以外の課程におけるこれに相当するものを修了しない者を含む。)。ただし、文部科学大臣において高等学校を卒業した者と同等以上の資格を有すると認めた者を除く。
- 三 成年被後見人又は被保佐人
- 四 禁錮以上の刑に処せられた者
- 五 第十条第一項第二号又は第三号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該失効の日から三年を経過しない者
- 六 第十一条第一項から第三項までの規定により免許状取上げの処分を受け、当該処分の日から三年を経過しない者
- 七 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

2 (略)

3 特別免許状は、教育職員検定に合格した者に授与する。ただし、第一項各号のいずれかに該当する者には、授与しない。

- 4 前項の教育職員検定は、次の各号のいずれにも該当する者について、教育職員に任命し、又は雇用しようとする者が、学校教育の効果的な実施に特に必要があると認める場合において行う推薦に基づいて行うものとする。
  - 一 担当する教科に関する専門的な知識経験又は技能を有する者
  - 二 社会的信望があり、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持つている者
- 5 第七項で定める授与権者は、第三項の教育職員検定において合格の決定をしようとするときは、あらかじめ、学校教育に関し学識経験を有する者その他の文部科学省令で定める者の意見を聴かなければならない。
- 6 (略)
- 7 免許状は、都道府県の教育委員会(以下「授与権者」という。)が授与する。

**○地方公務員法第16条及び学校教育法第9条に規定する欠格事項**

- 1 成年被後見人又は被保佐人
- 2 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- 3 当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- 4 免許状失効又は取上げの処分を受け、当該失効又は処分の日から3年を経過しない者
- 5 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

**○勤務形態による職務経験年数の換算について**

非常勤で勤務の場合は、次の表を目安にして職務年数を換算してください。

不明な点がある場合は、必ずP1の連絡先までご相談ください。

週勤務日数	週担当時間	換算率
6日	15時間以上	1 / 1
5日	12時間～14時間	5 / 6
4日	9時間～11時間	2 / 3
3日	6時間～8時間	1 / 2
2日	3時間～5時間	1 / 3
1日	2時間以下	1 / 6

(例)「実務に関する経歴書」**記入例**(P7参照)の場合の換算

平成24年6月10日～平成25年3月25日 9月 非常勤 週5日 週10時間 9月×5/6 ⇒7月

平成25年4月1日～平成26年3月25日 11月 非常勤 週3日 週10時間 11月×2/3 ⇒7月

平成26年4月1日～平成27年3月25日 11月 非常勤 週3日 週5時間 11月×1/2 ⇒5月

平成27年4月1日～平成28年3月25日 11月 常勤 11月×1/1 ⇒11月

平成28年4月1日～平成29年4月25日 12月 非常勤 週3日 週9時間 12月×2/3 ⇒8月

合計は、7月+7月+5月+11月+8月=38月(3年2か月)となります。

なお、週勤務日数と週担当時間は、換算率が高い方をとり、換算して生じた1月に満たない期間は、切り捨てとなります。

受験者カード記入例

29 受験者カード (自立活動担当用)

・記入例に従って、太線の枠内のみ鉛筆で楷書でいねいに記入してください。

C#		校種等・教科					※受験番号			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
G	A	4	6	7	I					

氏名(漢字で記入)			
姓		名	
11	20	21	30
神	奈	川	花 子

漢字で姓名をそれぞれ記入してください。

氏名(カタカナで記入。濁点(゜)、半濁点(゜)は1字として扱う)									
姓		名							
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
カ	ナ	カ	・	ク					
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
ハ	ナ	コ							

性別は、男は「M」、女は「F」のいずれかをアルファベット(大文字)で記入してください。  
生年月日は、西暦で記入してください。  
(例)平成2年9月2日生まれの場合は、「19900902」となります。  
和暦と西暦の対応は、下欄の表を参考にしてください。

性別	生年月日							
	年(西暦)				月 日			
56	57	58	59	60	61	62	63	64
F	1	9	9	0	0	9	0	2

最終卒業(修了)学校名を受験者カード裏面の学校コード表から選び、コード番号を5桁の記号で記入してください。  
学校コード表に該当する学校名がない場合は、「99999」と記入してください。  
また、学歴が複雑で最終卒業学校が特定できない場合も「99999」と記入してください。

- 最終学校の学校種は次の1~9の区分から1つ選び、数字で記入してください。
- 1 教員養成課程のある 国立大学の教育系学部
  - 2 国立大学 (1を除く)
  - 3 公立大学
  - 4 私立大学
  - 5 高等学校 (大校・高認含む)
  - 6 短期大学
  - 7 指定教員養成機関等
  - 8 大学院等 (専攻科含む)
  - 9 その他

最終学校コード							最終学校名		
65	66	67	68	69	70				105
9	9	9	9	9	〇	〇	福	祉	大

最終卒業(修了)学校名を記入してください。

最終学校 の 学 校 番 号	卒業(修了)年月							都道府県	
	年(西暦)				月 日				
100	107	108	109	110	111	112	113	114	115
4	1	2	0	1	2	0	3	1	4

- 最終学校の卒業種は次の1~2のどちらかの数字を記入してください。
- 1 卒業(修了)
  - 2 卒業(修了)見込

卒業(修了)年月を西暦で記入してください。  
(例)平成24年3月卒業 → 「201203」

下欄の都道府県コード表から、自宅のある都道府県名コードを2桁の数字で記入してください。大学等で実家を離れている場合には、実家のある都道府県名コードを記入してください。

都道府県コード表

都道府県名	コード
北海道	01
青森県	02
岩手県	03
宮城県	04
秋田県	05
山形県	06
福島県	07
茨城県	08
栃木県	09
群馬県	10
埼玉県	11
千葉県	12
東京都	13
神奈川県	14
新潟県	15
富山県	16
石川県	17
福井県	18
山梨県	19
長野県	20
岐阜県	21
静岡県	22
愛知県	23
三重県	24

都道府県名	コード
滋賀県	25
京都府	26
大阪府	27
兵庫県	28
奈良県	29
和歌山県	30
鳥取県	31
島根県	32
岡山県	33
広島県	34
山口県	35
徳島県	36
香川県	37
愛媛県	38
高知県	39
福岡県	40
佐賀県	41
長崎県	42
熊本県	43
大分県	44
宮崎県	45
鹿児島県	46
沖縄県	47
外国	99

参 考

和 暦	西 暦
昭和64年	1989年
平成元年	1989年
平成2年	1990年
平成3年	1991年
平成4年	1992年
平成5年	1993年
平成6年	1994年
平成7年	1995年
平成8年	1996年
平成9年	1997年
平成10年	1998年
平成11年	1999年
平成12年	2000年
平成13年	2001年
平成14年	2002年
平成15年	2003年
平成16年	2004年
平成17年	2005年
平成18年	2006年
平成19年	2007年
平成20年	2008年
平成21年	2009年
平成22年	2010年
平成23年	2011年
平成24年	2012年
平成25年	2013年
平成26年	2014年
平成27年	2015年
平成28年	2016年
平成29年	2017年

記入例

実務に関する経歴書

氏名	神奈川 花子	出願免許状	※記入不要	教科等	※記入不要
現勤務先	〇〇会〇〇病院		職種	言語聴覚士	
所有する資格免許	言語聴覚士		資格取得年月日	平成24年6月1日	
実務の経験の期間	左の年月	所属名	職種	従事した業務内容 〔職務内容〕 〔常勤・非常勤の別〕	
平成24年6月10日 ～ 平成25年3月25日	9月	〇〇市立〇〇福祉センター	言語聴覚士	障害児に対する言語訓練、相談 常勤 非常勤(週5日・週10時間)	
平成25年4月1日 ～ 平成26年3月25日	11月	介護老人保健施設〇〇園	言語聴覚士	高齢者に対する言語訓練、摂食・嚥下訓練 常勤 非常勤(週3日・週10時間)	
平成26年4月1日 ～ 平成27年3月25日	11月	□□会□□病院	言語聴覚士	障害児・者に対する言語訓練 常勤 非常勤(週3日・週5時間)	
平成27年4月1日 ～ 平成28年3月25日	11月	△△会△△病院	言語聴覚士	障害児・者に対する言語訓練 常勤 非常勤(週日・週時間)	
平成28年4月1日 ～ 平成29年4月25日	1年	〇〇会〇〇病院	言語聴覚士	障害児・者に対する言語訓練 常勤 非常勤(週3日・週9時間)	

※資格取得以降の、その資格に基づく実務の経験を記入すること。

※「実務の経験の期間」は、記入日までの期間内で記入すること。

※「常勤・非常勤の別」は、どちらかを○で囲むこと。

※非常勤の場合は、週当たりの勤務日数と担当時間を記入すること。

※記入欄が足りない場合は、用紙を複写して2枚目に記入すること。

上記のとおり相違ありません。

平成29年〇月〇日

氏名 神奈川 花子

(自署)

